

就学前児童票(案)

問9-4は、問9で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問9-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。(____歳くらいになったら預けようと考えている)
9. その他(_____)

問9-1で利用しているサービスの組み合わせパターンを作り、そのパターンごとに、問9-4の利用していない理由を分析することが可能。ニーズ推計で求めた潜在ニーズと現状ニーズのギャップの背景を分析することが可能。

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問10 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで○をつけてください。

【日中の定期的保育】

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの) 2. 家庭的な保育 (保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス) 3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設) 4. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) 5. 認定こども園 【共通利用時間みの保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設) 6. 認定こども園 【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設) 7. その他の保育施設 | <ol style="list-style-type: none"> 8. 幼稚園(通常の就園時間) 9. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービス) 10. 延長保育 11. ベビーシッター 12. ファミリーサポートセンター(地域住民による子どもの預かりサービス) <p>【その他保育】</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス) 14. 病児・病後児保育 (子どもの病気時の保育) <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 15. 特にない |
|--|---|

子育て支援サービスの利用希望を把握。問10-1と合わせて保育所に対するニーズとして、通常保育事業、延長保育事業、夜間保育事業、特定保育事業のニーズを、また、トワイライトステイ事業などのニーズを把握することができる。主な希望サービスについては、地域のサービス資源を勘案し、当該自治体の独自施策も含める等、選択肢を工夫することが必要。

就学前児童票(案)

問10-1及び問10-2は、問10で「1.」～「11.」の選択肢を選んだ方にお伺いします。選択されたサービスそれぞれについてお答えください。

問10-1 今後の利用希望についてお伺いします。
1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス(延長保育なども含めます)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

問10-2 サービスを利用したいと考えている理由は何のようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある／求職中である
4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である／就学したい
9. その他 ()

延長保育の潜在ニーズ推計や、短時間の潜在的なニーズを把握する場合に用いる。その場合、当該自治体で実施している延長・夜間等のサービス提供時間帯に即して、問10-1の回答を分類する必要がある。回答欄は適宜追加する。

問10で利用したいサービスの組み合わせパターンを作り、そのパターンごとに、問10-2の利用希望理由を分析することが可能。さらに、問9のサービス利用状況と合わせて分析することが可能。

封筒の宛名のお子さんの土・休日の保育について、すべての方に希望をお伺いします。

問11 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。
※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

| | | |
|---|-----|--|
| 1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない | } ⇒ | 利用したい時間帯をお答えください。 (<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで) |
|---|-----|--|

【日曜日・祝日】

| | | |
|---|-----|--|
| 1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない | } ⇒ | 利用したい時間帯をお答えください。 (<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで) |
|---|-----|--|

土曜日及び日曜日、休日の保育ニーズを把握。

就学前児童票(案)

4. 宛名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問12 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス(問7-2の定義参照)が利用できなかったことはありますか。

| | |
|---------|--------------|
| 1. あった | (→ 問12-1,2へ) |
| 2. なかった | (→ 問13へ) |

この1年間の、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問12-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

問12-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

| | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|---|
| 1. 父親が休んだ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 母親が休んだ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 3. (同居者を含む)親族・知人に預けた | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |

↓

| | | | |
|--------------|----------------------|----------------------|---|
| できれば施設等に預けたい | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
|--------------|----------------------|----------------------|---|

| | | | |
|--|----------------------|----------------------|---|
| 4. 就労していない保護者がみた | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 6. ベビーシッターを頼んだ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 7. ファミリーサポートセンターにお願いした | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 9. その他() | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |

病児・病後児保育の推定ニーズ量の算出のための項目。現状の利用量は、問12-1の選択肢5の日数。潜在ニーズ推計のため、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが受けられなかったときの対処方法及び日数を把握。父親・母親が休んだ日数及び親族・知人に預けた日数のうち、施設等に預けたい日数を病児・病後児の潜在利用ニーズとして用いることも可能。自治体の判断により、潜在ニーズをより広くとつてもかまわない。

就学前児童票(案)

8. すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします。

ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問17 どのような目的で利用していますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している |
| 6. その他の目的で利用している |

ベビーシッターの推計ニーズ量算のための項目。現状は、問17に回答した人の割合と問17-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率は、問10で把握。

問17-1 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

| | | | | |
|--|------|-------|---|------|
| 月に <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | 1回あたり | <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | 時間程度 |
|--|------|-------|---|------|

9. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問18 ファミリーサポートセンターを利用していますか

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 利用している | (→ 問18-1,2,3へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問18-4へ) |

問18-1 どのような目的で利用していますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している |
| 6. 保育施設等の送り迎えに利用している |
| 7. その他の目的で利用している |

ファミリーサポートセンターの推計ニーズ量算のための項目。現状は、問18で「1.」と回答した人の割合と問18-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率及びニーズ量は、問18-3及び18-4で把握。

問18-2 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

| | | | | |
|--|------|-------|---|------|
| 月に <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | 1回あたり | <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | 時間程度 |
|--|------|-------|---|------|

問18-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

| | |
|--|-------|
| 月に <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | 時間くらい |
|--|-------|

問18-4 今は利用していないが、できれば利用した方は、枠内に数字をご記入ください。

| | |
|--|-------|
| 月に <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | 時間くらい |
|--|-------|

就学前児童票(案)

10. すべての方にお伺いします。

問19 封筒の宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいのひろば、子育て支援センター等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用実態及び利用希望について把握。

| |
|--|
| 1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） 1週あたり [] 回 |
| 2. その他当該自治体で実施している同様の事業（具体名） 1週あたり [] 回 |
| 3. 利用していない |

問20 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

| |
|--|
| 1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） 1週あたり [] 回 |
| 2. その他当該自治体で実施している同様の事業（具体名） 1週あたり [] 回 |
| 3. 特になし |

問19で「3. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問20-1 現在利用していない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

| | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1. 利用したいサービスが地域にない | 6. 時間がない |
| 2. 地域のサービスの質に不安がある | 7. サービスの利用方法（手続き等）がわからない |
| 3. 地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい | 8. その他 |
| 4. 利用料がかかる | 9. 特に理由はない |
| 5. 自分がサービスの対象者になるのかどうかかわらない | |

子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします。

問21 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

| | A | | B | | C | |
|---------------------|-------|-----|----------------|-----|---------|-----|
| | 知っている | いいえ | これまでに利用したことがある | いいえ | 今後利用したい | いいえ |
| ①母親学級、両親学級、育児学級 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ②保健センターの情報・相談サービス | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ③家庭教育に関する学級・講座 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ④教育相談センター・教育相談室 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑦児童館 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑧子育ての総合相談窓口 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑨自治体が発行している子育て支援情報誌 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑩育児支援家庭訪問事業 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑪〇〇〇〇事業 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑫□□□□サービス | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |

保育以外の子育て支援サービスの認知度、利用実態及び利用希望について把握。地域のサービス資源を勘案し、当該自治体の独自施策を含める等、適宜工夫することが必要。

就学前児童票(案)

11. 育児休業制度の利用についてお伺いします。

問22 封筒の宛名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

| | |
|------------------|------------|
| 1. 母親が利用した | |
| 2. 父親が利用した | (→ 問22-1へ) |
| 3. 母親と父親の両方が利用した | |
| 4. 利用しなかった | |

育児休業制度利用と保育サービスの利用ニーズとの関係を分析することが可能。

問22-1及び問22-2は、母親又は父親が育児休業を取得されていた方についてお伺いします。

問22-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問22で「3.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは ヶ月だった

問22-2 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

| | |
|---------------------|------------|
| 1. 育児休業期間を調整せずにできた | |
| 2. 育児休業期間を調整したのでできた | (→ 問22-3へ) |
| 3. できなかった | (→ 問22-4へ) |
| 4. 希望しなかった | |

問22-3 「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選ばれた方にお伺いします。育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に○をつけ、「2.」及び「3.」を選ばれた方は、枠内に数字でご記入ください。

1. 変わらない 2. 長くした ヶ月 3. 短くした ヶ月

問22-4 「3. できなかった」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。

| |
|---------------------|
| 1. 希望とは違う認可保育所を利用した |
| 2. 事業所内の保育サービスを利用した |
| 3. 上記以外の保育サービスを利用した |
| 4. 家族等にみてもらうことで対応した |
| 5. 仕事を辞めた |

※ニーズ把握のための設問は以上です。以下には、子育てに関する意識などに関する設問を、市区町村で任意に加えてください。まお、保育所などの利用満足度に関する設問などは、施設などを通じて利用者の方に別の調査を行うことも可能です。

就学児童票(案)

- 注) 潜在ニーズの把握のための項目として設定することが必要。
 潜在ニーズの詳細な分析に必要な項目であり、自治体の必要性に応じ設定。
 基本的にニーズ推計には直接用いないが、ニーズの背景等を分析するために、自治体の必要性に応じ設定。

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成 年 月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成〇年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人 末子の年齢 歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 父母同居 2. 父同居(ひとり親家庭) 3. 母同居(ひとり親家庭) 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

調査対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する機会が多いと考えられるため設定してあるが、当該自治体の問題意識に応じて取捨選択すること。

宛名の子どもの年齢を把握。年齢別の推計ニーズ量を算出したい場合に活用。

世帯の子ども人数及び末子の年齢を把握。将来の母親の再就職時期等を把握したい場合などに活用。

家庭内の支援の可能性の観点から同居の祖父母等の有無を把握。核家族か三世代家族か、ひとり親世帯かを区別する。家族類型の設定に活用。

友人や地域の支援の可能性の観点から把握。日常的あるいは緊急時に預け先があるかどうかを把握する。家族類型を詳細に設定したい自治体で活用。

ライフスタイルの変更希望（身内や友人・知人からの支援に関する将来の考え方）を把握する。ニーズ推計において、家族類型を詳細に設定したい自治体では、潜在家族類型設定に活用。

問4-1に同じ

就学児童票(案)

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

| | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 |
|---------|---------|----------|--------|

保育等の発生ニーズにもっとも影響が大きい保護者を特定。

問 お住まいの地区としてあてまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. ○○ | 2. ○○ | 3. ○○ | 4. ○○ |
| 5. ○○ | 6. ○○ | 7. ○○ | 8. ○○ |

保育等のニーズを地区別に集計するために把握。集計段階で行政の地区区分に集計するなどの工夫が必要。

就学児童票(案)

2. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問6 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
〔 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 〕
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
〔 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
〔 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない 〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

保護者の就労の状況を把握。ニーズ推計において家族類型の作成に活用。

就労時間、帰宅時間については直接ニーズの推計には使用しないが、働き方に関する現状の把握や地域住民の生活実態の把握に活用。その場合、合わせて父母の「家事・育児時間」や「子どもと過ごす時間」、「1週間のうち夕食を家族で取る回数」などを把握することも考えられる。

(2) 母親

1. 就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
〔 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 〕
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
〔 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
〔 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない 〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

就学児童票(案)

問7は、問6の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問8へお進みください。

問7 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 有（すぐにも若しくは1年以内に希望がある） | (→ 問7-1へ) |
| 2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい） | (→ 問7-1へ) |
| 3. 無 | (→ 問8へ) |

母親の就労希望について把握。ニーズ推計において、ライフスタイルの変更希望の1つの要素として、家族類型（変更希望）の設定に活用（問7、問7-1）。

問7-1及び問7-2は、問7で「1.有（すぐにも若しくは1年以内に希望がある）」、「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問7-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

- | |
|--|
| 1. フルタイムによる就労 |
| 2. パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間） |

問7-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい |
| 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない |
| 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない) 等就労する環境が整っていない |
| 5. その他 () |

就労希望のうち、保育サービスが前提と考える者の把握等に活用。

問7-3は、問7で「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問7-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

| |
|--|
| <input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 歳になったとき |
|--|

就学児童票(案)

3. 放課後児童クラブの利用についてお伺いします。

問8 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

【放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。問8-5の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。】

1. 利用している (→ 問8-1へ)

2. 利用していない (→ 問8-2へ)

問8-1 上記の問で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

週 日くらい → うち土・日の利用 1. ある
2. ない

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. その他 ()

問8-2 上記の問で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
5. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他 ()

就学児童票(案)

問8-3 問8で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-------------------------------|------------|-------|
| 1. 利用したい | → 週 <input type="text"/> 日くらい | うち土・日の利用希望 | 1. ある |
| 2. 今後利用しない | | | 2. ない |

問8-4 今後放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害を持っている
6. 学生である／就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他 ()

問8-5 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
【放課後子ども教室…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。】

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1. 意向がある | → 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 2. 意向がない | |
| 3. 対象のサービスがない | |

問9 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 放課後児童クラブを利用したい |
| (1.を選ばれた方) → 小学 <input type="text"/> 年生まで利用したい |
| 2. 放課後子ども教室を利用したい |
| 3. クラブ活動など習い事をさせたい |
| 4. 利用を希望するサービスは特にない |
| 5. その他 () |

就学児童票(案)

4. 宛名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします。

問10 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

| | |
|---------|--------------|
| 1. あった | (→ 問10-1,2へ) |
| 2. なかった | (→ 問11へ) |

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問10-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

(半日程度についても1日としてカウントしてください)

問10-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

↓

1. 父親が休んだ 日

2. 母親が休んだ 日

3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた 日

}

→

できれば施設等に預けたい 日

| | | |
|--|---|---|
| 4. 就労していない保護者がみた | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日 |
| 5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育園で実施しているサービスを含む) | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日 |
| 6. ベビーシッターを頼んだ | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日 |
| 7. ファミリーサポートセンターにお願いした (地域住民による子どもの預かりサービス) | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日 |
| 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日 |
| 9. その他 () | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日 |

病児・病後児保育の推計ニーズ量の算出のための項目。現状の利用量は、問12-1の選択肢5の日数。潜在ニーズ推計のため、子どもが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなど通常のサービスが受けられなかったときの対処方法及び日数を把握。父親・母親が休んだ日数及び親族・知人に預けた日数のうち、施設等に預けたい日数を病児・病後児の潜在利用ニーズとして用いることも可能。自治体の判断により、潜在ニーズをより広くとってかまわない。

就学児童票(案)

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問11 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間 日

(理由別)

- ① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 日
- ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 日
- ③ 就労 日

2. ない

一時預かりの推計ニーズ量算出のための項目。現状は、問11の「1.」の日数で家族類型別の利用実態を把握。潜在ニーズは、問12で回答した人の日数。

問12 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問13 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） (→ 問13-1,2へ)

2. なかった (→ 問14へ)

ショートステイの推計ニーズ量の算出のための項目。ショートステイを必要とした場合の対処方法及び日数、親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたっての優先順位をつける際に活用。

問13-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問13-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。）

1. (同居者を含む)親族・知人に預けた 泊 →

| | | |
|---------|--------------|------------|
| 1.非常に困難 | 2.どちらかというと困難 | 3.特に困難ではない |
|---------|--------------|------------|

2. 保育サービス（※右下注）を利用した 泊

3. 仕方なく子どもも同行させた 泊

4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 泊

5. その他 () 泊

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

就学児童票(案)

7. ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問14 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している |
| 2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している |
| 4. その他の目的で利用している |

ベビーシッターの推計ニーズ量算出のための項目。現状は、問14に回答した人の割合と問14-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率は、問15で把握。

問14-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

| | | | | |
|--|------|-------|---|------|
| 月に <input style="width: 40px;" type="text"/> | 日くらい | 1回あたり | <input style="width: 40px;" type="text"/> | 時間程度 |
|--|------|-------|---|------|

問15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

| | |
|--|------|
| 月に <input style="width: 40px;" type="text"/> | 日くらい |
|--|------|

8. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問16 ファミリーサポートセンターを利用していますか

- | |
|---|
| 1. 利用している (→ 問16-1,2,3へ) |
| 2. 利用していない (→ 問16-4へ) |

問16-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している |
| 6. 保育施設等の送り迎えに利用している |
| 7. その他の目的で利用している |

ファミリーサポートセンターの推計ニーズ量算出のための項目。現状は、問16で「1.」と回答した人の割合と問16-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率及びニーズ量は、問16-3及び16-4で把握。

問16-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

| | | | | |
|--|------|-------|---|------|
| 月に <input style="width: 40px;" type="text"/> | 日くらい | 1回あたり | <input style="width: 40px;" type="text"/> | 時間程度 |
|--|------|-------|---|------|

問16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

| | |
|--|-------|
| 月に <input style="width: 40px;" type="text"/> | 時間くらい |
|--|-------|

問16-4 今は利用していないが、できれば利用した方は、枠内に数字をご記入ください。

| | |
|--|-------|
| 月に <input style="width: 40px;" type="text"/> | 時間くらい |
|--|-------|

| 施策 | | 個別事業レベルの評価指標(アウトプット) | 施策レベルの評価指標(アウトカム) | | | | 計画全体の評価指標(アウトカム) | |
|----------------------------|------------------------|----------------------|---|---|--|--|---|---------|
| 大項目 | 中項目 | | 認知度・理解度 | 利用度 | 達成度 | | 意向度等 | 既存統計データ |
| | | | | 実績評価 | 既存統計データ | | | |
| 地域における子育ての支援 | | | | | | | | |
| 地域における子育ての支援の充実 | ファミリー・サポート・センター事業 | ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度(サービス対象者に占める利用者の割合) ※以下の施策レベルについても同様 | ・地域のサービス・施設が利用しやすいと感じる割合 ・地域の中で子育てに満足している割合 ・地域の子育て支援サービスなどの情報が得やすいと感じる割合 ・母子保健施設と地域の子育て支援サービスの連携が行われているか | - | 【★子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合】 | ●出生数 |
| | 子育て短期支援事業(ショートステイ事業) | ××箇所 | | | | | | |
| | 子育て短期支援事業(トワイライトステイ事業) | ××箇所 | | | | | | |
| | 地域子育て支援拠点事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 保育サービスの充実 | 通常保育事業 | ××人 | ・【★希望した時期に保育サービスを利用することができた利用者の割合】 ・保育サービスが利用しやすいと感じる割合 | ●保育所在所率(公私別) ●待機児童数(年齢別) ●保育所において保育指針を作成している施設の割合 | - | 現在の家庭・地域環境において、もう一人子どもを産みたいと思う割合 ・希望する子どもの数と現実の差 | ●合計特殊出生率 ●■世帯あたり子ども数 | |
| | 病児・病後児保育 | ××箇所 | | | | | | |
| | 延長保育事業 | ××箇所 | | | | | | |
| | 休日保育事業 | ××箇所 | | | | | | |
| | 夜間保育事業 | ××箇所 | | | | | | |
| | 特定一時保育事業 | ××箇所 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 子育て支援のつなぐづくり | …事業 | ××箇所 | 【★子育てが地域の人に(もしくは、社会で)支えられていると感じる割合】 ・子育てについて、気軽に相談できる人がいる割合 ・地域における子育て支援活動に参画する割合 | ◇子育てネットワークの構成割合 | - | ◇児童のいる世帯の母親の就業率 ◇出産、育児を理由とした離職者の割合 ◇「育児」、「子供の教育」に対する悩みやストレスのある父母の割合 ■就業率(男女別) | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| 児童の健全育成 | 放課後児童館室育成事業 | ××人 | ・地域の活動拠点(児童館等)が利用しやすいと感じる割合 ・就学前保育から放課後児童クラブへの移行に支障が無いと感じる割合 | - | - | ◇子育てを楽しいと感じる割合 ◇理想の子どもの数 ◇持てる子どもの数 | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進 | | | | | | | | |
| 子どもや母親の健康の確保 | 妊婦検診事業 | ××(検診数) | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | ・妊婦・出産の経過に対する満足度 ・子どもの健診に対する満足度 | ●周産期死亡率 ●乳児死亡率 | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 「食育」の推進 | …事業 | ××人 | ・子どもが健康的な食習慣を身につけていると感じる割合 | - | - | ■子どもの起床、就寝時間 ■子どもの朝食習慣 | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 思春期保健対策の充実 | …事業 | ××人 | ・子どもの思春期保健対策に係る満足度 | - | - | ■不安や悩みの種類(子どもの性に関すること) | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 小児医療の充実 | …事業 | ××人 | ・地域における小児医療サービスの利便性・安心感 ・地域における小児医療サービスの経済的負担感 | - | - | ◇小児人口に対する小児科医、新生児科医師、児童精神科医師の割合 | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備 | | | | | | | | |
| 次代の親の育成 | …事業 | ××人 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | ・子どもが年少の子どもや赤ちゃんや触れ合う機会が増えていると感じる割合 | - | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備 | …事業 | ××人 | ・子どもが自然、社会、文化などの体験をしやすい環境である、と考える人の割合 | - | - | - | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 家庭や地域の教育力の向上 | …事業 | ××人 | ・子どもの成長にとって良好な情報環境が整備されていると感じる割合 | - | - | - | ■市(区)町村立図書館の設置状況 ■都道府県別「コンピュータの設置状況」及び「インターネット接続状況」の実態 | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 | …事業 | ××人 | - | - | - | - | - | - |
| | …事業 | ××人 | | | | | | |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 子育てを支援する生活環境の整備 | | | | | | | | |
| 良質な住宅の確保 | …事業 | ××人 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | ◇子育て世帯の住宅(住宅の広さや間取り等)について満足している割合 | ◇子育て世帯の誘導居住面積水準達成率 | - | - |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 良好な居住環境の確保 | …事業 | ××人 | - | - | ◇子育て世帯の住宅のまわりの環境(子どもの遊び場・公園、子育て支援サービスの状況等)について満足している割合 | ◇共同住宅ストックの共用部のユニバーサルデザイン化率 | - | - |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 安全な道路交通環境の整備 | …事業 | ××人 | - | - | ・子どもの遊び場に関する満足度 | ■15歳以下の交通人身事事故発生件数 | - | - |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |
| 安心して外出できる環境の整備 | …事業 | ××人 | - | - | ・子どもとのお出かけに安心と感じる割合 | ■少年が被害者となったの犯罪・事故等の被害件数 | - | - |
| | …事業 | ××箇所 | | | | | | |

※指標欄の『★の指標は全国共通の指標』として設定が望ましいもの

※既存データ欄の
 ●は市町村単位で入手可能なデータ
 ■は都道府県単位で入手可能なデータ
 ◇は国全体のみのデータ

| 施策 | | 個別事業レベルの評価指標(アウトプット) | 施策レベルの評価指標(アウトカム) | | | 計画全体の評価指標(アウトカム) | |
|----------------------|---------------------------|---|------------------------|---------|--|---|---------|
| 大項目 | 中項目 | | 認知度・理解度 | 利用度 | 達成度 | 意向度等 | 既存統計データ |
| | 安全・安心まちづくりの推進等 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | 実績評価 達成度 | | 既存統計データ |
| | 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方等の見直し | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | 【★仕事と生活の両立がはかられていると感じる割合】 ・第1子出産前後の女性の継続就業率(都道府県) ・女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができていく割合(市町村) ・仕事時間と生活時間の希望と現実の差 ・子どもと一緒に時間を十分にとれると考える保護者の割合 ・短時間勤務制度導入企業割合(都道府県) ・看護休暇の取得状況(都道府県) ・次世代行動計画を通じた連携など、仕事と生活の調和に取り組む企業との協働・支援の状況(市町村) ・企業内の両立支援策の周知度・利用しやすさ・満足度 ・配偶者の家事・育児分担に対する満足度 | ■週間就業時間 ■妻の家事育児時間に対する夫の家事、育児時間の割合 ◇継続就業率 ◇育児休業取得率 | |
| | 仕事と子育ての両立の推進 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××人 | ・仕事と生活の調和に対する認知度 | | | | |
| 子ども等の安全の確保 | | | | | | | |
| | 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | ・地域における防犯活動が活発であると感じる割合 ・子どもに係る事故や犯罪が増加していると感じる割合 | ■15歳以下の交通人身事故発生件数 ■少年が被害者となったの犯罪・事故等の被害件数 ◇学齢別の交通事故死傷者数と負傷者数 | |
| | 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | | | |
| | 被害に遭った子どもの保護の推進 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | | | | | |
| 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進 | | | | | | | |
| | 児童虐待防止対策の充実 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | 検討中 | 検討中 | | | |
| | 母子家庭等の自立支援の推進 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | 検討中 | ■母子世帯の年間収入状況 ■母子世帯における母親の就業率 ■母子世帯の住居所有状況 ■母子世帯における相談相手の有無 | |
| | 障害児支援の充実 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | | | | | |

※指標欄の【★の指標は全国共通の指標】として設定が望ましいもの
 ※既存データ欄の
 “●”は市町村単位で入手可能なデータ
 “■”は都道府県単位で入手可能なデータ
 “◇”は国全体のみデータ

【都道府県計画】

| | | | | | | | |
|----------------------|---------------|---|------------------------|---------|-----|---|--|
| 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進 | | | | | | | |
| | 児童虐待防止対策の充実 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | 検討中 | 検討中 | | | |
| | 社会的養護体制の充実 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | ・支援内容の認知度 ・支援目的の理解度 | ・支援の利用度 | 検討中 | ■里親委託率 ■母子世帯の年間収入状況 ■母子世帯における母親の就業率 ■母子世帯の住居所有状況 ■母子世帯における相談相手の有無 | |
| | 母子家庭等の自立支援の推進 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | | | | | |
| | 障害児支援の充実 | ……事業 ××人 ……事業 ××人 ……事業 ××箇所 | | | | | |